

大工

どんなプロフェッショナルになりたいか

ぼくは、頼まれた仕事はなんでも受けるような大工になりたいです。受けた仕事は途中であきらめそうになってもできないとは言わず最後までやり遂げられるようになります。

ぼくの祖父はもともと左官という仕事をしていました。左官という仕事は大工の仕事と似ていて、祖父はその左官という仕事を生かして卓球の台を作っ

てくれたり棚を作ってくれたりしています。そんな祖父の姿を見て、ぼくも物を作る仕事に付きたいと思うようになりました。

ぼくも祖父のような大工になつて大工の技をみがき、そのみがいた技を生かして生活に役立つものなどいろいろな物を作る大工になりたいです。

大工の一日

- ・六時 起床
- ・七時 家を出発
- ・七時三十分頃 工務店到着
- ・作業開始まで軽く清掃
- ・八時 作業開始
- ・十時 二十分間のお茶休み
- ・十二時 十五分間の昼休み
- ・弁当持参でその後午後の作業開始まで昼寝
- ・十三時 午後の作業開始

- ・十五時 三十分のお茶休み
- ・十七時 作業終了、清掃、翌日の準備

休憩が多いと感ずるかもしれませんが、危険な工具を扱うことが多いので仕事のめりはりをしつかりつけているそうです。

また、職人は体、頭、神経をバランスよく使うそうです。

大工になるためには

大工になるには、三つの方法があります。一つ目は大工に弟子入りをして職人を目指す方法です。この方法では、親方に弟子入りして、現場で親方が作業をしているところを見て学んだり、現場で実際に体験して経験を積んだりして職人を目指します。

もういろいろな工務店がありますが、大工としての経験を積みたいと思っている人には棟梁タイプの工務店がよいそうです。

三つ目の方法は建築の専門学校に通って大工についての知識を深めて職人を目指す方法です。

本気で大工を目指そうという人は専門学校に通って知識を深めるのもよいそうです。

感想

僕は大工について調べてみて大工になるにはいろいろな方法があることがわかりました。また、大工に

なるにはいろいろな知識を深めたり、たくさん経験を積んだりしないと本当の職人にはなれないんだと思いました。

これを調べて、祖父の大変さがわかりました。僕の目指したい人は祖父です。目指したい人が身近にいるのでいろいろなことを祖父に聞いて、祖父のように仕事を生かしていろいろな物を作れるようになります。

